

日本システム監査人協会近畿支部設立25周年おめでとうございます。

私は、近畿支部が設立された1988年（昭和63年）の前年秋の第二回システム監査技術者試験（当時は秋に実施されていた）に合格したのですが、合格通知が1988年ですので私もシステム監査技術者になって25周年ということになりますね。

1988年当時は、日本ユニバックの東京本社に第一回目の転勤中で、プロセッサ担当のハードウェアエンジニアとして新機種の開発テストに従事しておりました。合格はしたもののシステム監査とは無縁の日々でしたが、日本ユニバックは日本システム監査人協会の後援に力を入れていましたので、合格者は日本システム監査人協会入会を業務命令のようにして薦められ、私は近畿支部に入会させて頂きました。

世は昭和から平成となり、日本ユニバックは日本ユニシスとなって、勤務地は関西支社に戻り、仕事はハードウェアからOSまわりのインフラソフト担当に変わりましたが、相変わらずシステム監査とは無縁な状況でした。ただ、日本ユニシス関西支社で近畿支部の定例研究会を開催していましたので、時々参加させて頂いておりました。

システム監査に従事したのは、二回目の本社勤務時代の2004年から5年間システム監査室に配属となり、本格的にシステム監査業務を担当することになりました。2004年頃はアウトソーシング・ビジネスが隆盛になってきた時期で、主業務は自社のアウトソーシングシステムに対する内部システム監査を中心に実施していました。社外の監査は官公庁関係を含め数件の外部システム監査を経験しましたが、システム監査がビジネスとして確立できていないことを痛感しました。今後ビジネスとして確立していくことを期待しております。

日本システム監査人協会のセミナー活動に関係しだしたのは、2004年にシステム監査室でシステム監査業務を担当するにあたり、スキルを付けるために先輩のご紹介で本部事例研究会に参加させて頂いたのが切っ掛けでした。事例研究会では、システム監査セミナーの教材作りや実践セミナー、内部統制セミナーの講師を何度か務めさせて頂きました。事例研究会では良き先輩諸氏のご指導もさることながら、定例会議やセミナー後の懇親会で「システム監査への熱き思い？」を語り、「昔は凄かった」というオジン談話で盛り上がっていたことを懐かしく思い出します。

近畿支部での活動は、2005年に近畿支部主催実践セミナーのお手伝いをしたことから、2008年から近畿支部のセミナーWGのメンバーとして活動させて頂いております。近畿支部では2000年から実践セミナーを開催しており、最低催行人数に達せず開催を断念した年もありましたが、10数年という歴史があります。2009年からは実践セミナーに加えて初心者向けの入門セミナーも立ち上げて、2010年には課題解決セミナーも追加して年間3コースを開催しております。セミナー名称は変更していますが、今年の近畿支部主催セミナーは「体験セミナー（入門編）」、「体験セミナー（実践編）」、「事例に学ぶシステム監査の基本と応用」の3コースを開催または開催予定しております。（入門編は6月22日に開催済み）

「体験セミナー（入門編および実践編）」は、ロールプレイ方式でシステム監査人としての模擬監査が体験できるセミナーですので、システム監査技術者試験には合格したが実践したことが無い皆様にお薦めのセミナーです。「事例に学ぶシステム監査の基本と応用」セミナーは、多彩な講師スタッフ陣が現場体験に基づくお話しをするセミナーで、監査業務を担当されている方々には参考になり、また違う観点の気付きとなるセミナーだと思いますので、興味のある方は是非参加をご検討下さい。受講者の中には、リピーターとなっている方々もいらっしゃいます。リピーターがいるということは、講師スタッフ陣にとって嬉しくありがたい存在でもありますが、反面期待に応えないといけないというプレッシャにもなっております。

私事ですが、昨年は九州支部主催のセミナーのお手伝いをさせて頂きました。今年は中部支部・北信越支部主催のセミナーのお手伝いをさせて頂いております。私の知る限りでは、ロールプレイを中心にした監査の模擬体験ができるセミナーは日本システム監査人協会のセミナーだけだと思います。チームでインタビュー項目を検討して、受講者自らがシステム監査人となって講師スタッフ陣が演じるCIOや電算課長にインタビューを行い、課題や問題点を整理して行くというセミナー形式は、受講者から毎回好評を頂いております。

近畿支部セミナーWGは、これからもより良いセミナーを目指して開催していく所存ですし、また各支部でも活発にセミナーが開催されるようになり、日本システム監査人協会が発展して行くことを祈念しております。